

防災新聞

災害を
生き抜くための
挑戦

くしくも昭和南海地震から70年、東日本大震災から5年目の年に起こった熊本地震（平成28年4月発生）。この震災は多くの課題を投げかけた。被災地での生活機能の麻痺や避難所運営での混乱……。しかし、これは他人事ではない。災害列島に生きる者として災害と無関係ではいられない。この経験を教訓とし災害時に生かしていかなければならない。今、私たちは何を考え、何を準備すべきか。さまざまな方面で取り組まれている「災害を生き抜くための挑戦」を追った。

ドローンや救助犬を活用

市総合防災訓練を実施



被災車両で情報収集を行うドローン＝県南部健康運動公園

大地震に加え、豪雨による河川の氾濫、土砂災害など複合的な災害に見舞われたとの想定をした市総合防災訓練が、平成28年10月30日に県南部健康運動公園（桑野町）で行われました。訓練には桑野町の自主防災組織や消防団など約600人が参加。初期消火訓練や負傷者救出・搬送訓練などを行ったほか、徳島弁護士会による災害時の法律相談体験も行われました。

また、今回試験的にドローンや災害救助犬を活用した訓練が行われました。ドローンは、孤立者を救出するためロープを張るのに利用されたほか、被災車両での情報収集活動を行いました。

参加者は、「この訓練で学んだことを、家庭や地域の防災対策に活用したいです」と話していました。

津乃峰小が大賞 ぼうさい甲子園



優れた防災教育・活動に取り組む団体を表彰する「第12回ぼうさい甲子園」（兵庫県など主催）で、津乃峰小学校が最優秀賞の「ぼうさい大賞」を受賞しました。同校は、事前に告知のない避難訓練やバスを利用した避難所体験、保育園への出前授業など実践的な防災活動に取り組んでいることが高く評価されました。

津波防災マップ 色覚障がいのある人に 配慮した色彩で作成

南海トラフ巨大地震で想定される津波浸水深や緊急避難場所などの情報を確実に伝えるため、色覚障がいのある人に配慮した色彩を使った津波防災マップを作成しました。色覚障がいは、一般とは異なる色の感じ方をするため、従来の津波防災マップでは必要な情報を読み取れない可能性があります。マップは300部作成し、3月下旬完成予定。市役所、市内各公民館に配備します。問い合わせは、防災対策課まで。



校区コミュニティを活性化

阿南一中校区で 防災体制検討会

災害に強いまちづくりをめざして「阿南一中校区防災体制検討会」が平成28年12月12日に阿南第一中学校で開催され、校区の生徒・教員や公民館長、自主防災会関係者など32人が参加しました。

この取組は、校区のコミュニティを活性化させ、災害時の円滑な避難所運営などに生かしていくことを目指しています。



簡易トイレ作成に取り組む参加者

検討会では、それぞれの町に分かれてグループを作り、学校など避難所の運営について話し合いました。また、簡易トイレを作成するなど避難所運営の実習を行いました。

参加した有賀春桜美さん（阿南一中3年）は、「災害時の避難所運営では、人任せにせず、みんなで協力し合って行うことが大切だと感じました」と話していました。



避難所の運営について話し合う参加者

日本消防協会から 防災車両が寄贈



公益財団法人日本消防協会から阿南市消防団に「消防団防災学習・災害活動車両」1台が寄贈されました。同車両にはAEDトレーナーセットなどを収納。普段は防災学習に、災害時は緊急車両として活用されます。平成28年12月13日に市役所で行われた交付報告会では、

市消防団長の藤倉一則さんが「消防団として地域の自主防災組織などの防災出前学習に活用していきたい」と話していました。今回の寄贈は、消防団を中心とした地域防災力の充実・強化を図ろうと、同協会が取り組む「消防団防災学習・災害活動車両交付事業」によるものです。

共に生きる

防災にふれあう会 in シーズ 防災教室

防災への心構えを地域住民と共に考え、共に行動できるようにと、社会福祉法人悠林舎シーズが、「防災にふれあう会 in シーズ『防災教室』」を開催して

います。同防災教室は、平成23年より社会福祉法人悠林舎の地域交流活動として行われていました。地元自主防災会と連携して、近隣の小学校や保育所、地元住民を迎え、避難訓練や起震車での地震体験、防災講義などを行っています。また、平成24年度には阿南市「災害時の福祉避難所」の協定を締結するなど、地域の福

祉拠点となっています。

その活動が地域の防災啓発の高揚に寄与していると高く評価され、平成27年には徳島県「未来を守る防災活動賞」、平成28年の「第20回防災まちづくり大賞」（総務省主催）で日本防火・防災協会長賞を受賞されました。



起震車で地震体験に取り組む参加者



消火訓練に取り組む参加者

貴重な文化財を守る

防火訓練を実施

文化財防火デー（1月26日）にあわせて、富岡町の正福寺周辺で文化財を守る消防訓練が1月29日に行われ、正福寺の関係者や地元消防団員、市職員など約50人が参加しました。



消防訓練の様子＝富岡町の正福寺

訓練は正福寺周辺の山林から出火し、火は強風にあおられ、本殿に延焼の恐れがあることから内部の文化財を外に運び出すという想定で行われました。

火災発見者が「火事だ」と周囲に知らせて119番した後、正福寺の関係者が初期消火活動に当たりました。また、文化財を安全な場所まで搬出しました。消防ポンプ車が到着後、消防団員や市消防職員が山林に向かって放水しました。

正福寺檀信徒総代は、「正福寺で文化財の防火訓練をするのは13年ぶりです。防火意識を忘れないためにも定期的に行いたいのです。しかし、寺の防火対策だけでは限界があるので、市民の方々も防火に協力してほしいです」と話していました。

阿南防災士の会 発足5年

防災力を高める活動を行う「阿南防災士の会」の5周年記念式典が、1月16日に宝田公民館で開催されました。

防災士とは、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な意識・知識・技能を有する人で、日本防災士機構から認定を受けた人です。



記念式典の様子＝宝田公民館

防災リーダーとして活躍

「阿南防災士の会」は、平成24年の防災とボランティアの日（1月17日）に発足しました。身につけた防災スキルで、行政や地域の防災訓練に参加して、防災・減災の知識や技術を伝えるほか、市内の小中学校に出向き「防災出前講座」などを継続的に実施しています。発足時には16人だった会員も今春には約80人になる見込みです。また、防災に女性の視点を取り入れようと女性部会を作るなど、活動の幅を広げています。

同会会長の西尾博幸さん（68歳・長生町）は、「これからも防災で行政と市民の橋渡しの役割を担ってまいります」と意気込みを語りました。

津波体験を後生に伝える

人

岡部 文さん

（92歳・橋町）



「津波を知る人がいなくなっただ頃、津波が来る」と祖母から言い聞かされていたという岡部文さん。生活している橋町は、橋町の奥に位置し、津波の被害を受けやすい場所。戦後間もない昭和21年12月21日未明に体験した昭和南海地震と大津波は、今でも鮮明に脳裏に焼きついているという。

不気味な地鳴りとともに激しい揺れに襲われた。しばらくすると、海の彼方から豪風とともに襲来した津波。第1波、第2波、…と町を貪り尽くすように

呑み込んだ。復興には塗炭の苦しみをなめた。

「この体験をこれから生きる子や孫に伝えなければならぬ」と岡部さんは発起。平成4年に、鶴和光神社に過去の津波被害の状況を記した石碑を建立。また、平成15年には昭和南海地震やチリ地震の被害を綴った冊子「恐怖の大津波」を地元有志と共に発行した。

「後生に伝えること。それが生きる者の使命だ」と思いまなびで語りかけた。

クイズで防災を学ぶ 龍谷大生が防災授業



防災教育の様子＝中野島小学校

龍谷大（京都市）の学生が、2月7日に災害対応の防災授業を行い、中野島小3年生39人が学びました。授業では、学生が災害時に起こる被害を説明。また中野島地区で発生する可能性のある液化化現象の実験を行いました。

学んだ後、クイズ形式で振り返り、「災害が起きる前に準備できること」などのクイズに児童は班で相

談しながら熱心に取り組んでいました。

久米巧真さん（中野島小3年）は、「学んだことを家族と話合って、災害が起こったときに生かしたいです」と話していました。

本防災授業は、本市と連携協定を結んでいる大阪大の招へい教員で龍谷大講師の石原凌河さんのゼミ生が行いました。8日には、福井小でも同授業が行われました。

阿南南ロータリークラブ 南海トラフ巨大地震対策プロジェクト

阿南南ロータリークラブは、地域に南海トラフ巨大地震による津波等の被害が予想される地域が含まれることから、平成18年に防災委員会を設立し、積極的な防災活動を行っています。

標高標示板の設置や橋地区防災公園へのいす寄贈など、活動は多岐にわたります。

特に「防災啓発は子どもの頃から」と防災啓発標語・ポスターコンクールを実施。7回目を迎える今回は、市内小中学校から、標語564点、ポスター153点の出品がありました。優秀作品は、下記のとおり展示されます。ぜひご覧ください。

第7回防災啓発標語・ポスターコンクールの展示

日時 3月4日(出)～30日(木)
8:30～17:00 (30日は15:00まで)

場所 ひまわり会館

作品展示 防災啓発標語 (23点)
防災啓発ポスター (153点)

阿南南ロータリークラブ事務局 (ホテル龍宮内 ☎27-2027) へ

● 防災標語最優秀作品 ●

訓練は 命を守る 第一歩
阿南第二中学校1年 佐々木春虎さん
わすれもの ひきかえさずに まず命
津乃峰小学校4年 関本芽吹さん
さあにげよう 「おはしも」まもって
ひなん場所へ
椿小学校3年 野賀田 遙さん

● 防災ポスター最優秀作品 ●



阿南第二中学校1年 板垣志桜里さん



長生小学校6年 原 光希さん



富岡小学校3年 阪本奏一郎さん